

## 令和5年度潮来市男女共同参画審議会

### 1 日 時

令和5年11月7日(火) 10時00分～11時30分

### 2 場 所

潮来市津知公民館 2階 学習室 1

### 3 出席委員（敬称略）

内田 聡(茨城大学人文社会科学部教授)

光畑 由佳(有限会社モーハウス)

小松崎 修平(潮来市教育委員)

和田 直子(潮来市議会議員)

実川 教生(潮来市商工会事務局長)

大川 容子(潮来市男女共同参画ネットワーク連絡会長)

本宮 洋子(茨城県男女共同参画推進員)

高橋 将行(潮来市民)

(計8名)

### 4 内 容

#### (1)開会

#### (2)委員等紹介および会長・副会長の選出

#### (3)議事・報告事項

①第2期潮来市男女共同参画基本計画の体系について説明

②令和4年度潮来市男女共同参画事業実施状況調査の報告

#### (4)閉会

### <配布資料>

令和5年度潮来市男女共同参画審議会委員名簿

第2期潮来市男女共同参画基本計画の体系図

第2期潮来市男女共同参画基本計画に基づく成果指標

第2期潮来市男女共同参画基本計画に基づく令和4年度事業実施状況調査票

### 5 結 果

- ・互選にて会長に内田委員、副会長に和田委員が選出された。
- ・議事について、事務局から説明を行った後、議論が行われた。主な意見は下記のとおり。

<主な意見> ※記載は発言順

- ・市の男性職員の育児休暇取得率など、既に目標達成しているものについては下がらないように維持していただきたい。
- ・「女性の割合」という項目については伸び悩んでいるものが見受けられる。施策が未実施がゆえに伸び悩んでいるものもあると思うが、現場教育や消防団員のように施策との対応関係が読み取れないものがある。数値が全てではないが、掲げた数値に対してどのようにアプローチするのかを見えるようにしておく必要がある。
- ・性別役割分担意識の思い込みに気づき、日常的な行動や言動に反映されていくことが大切。
- ・現段階では、男女だけでなく、ダイバーシティや多様性の方が一般的かと思う。
- ・必要になったときには情報を得ようとするが、それ以外は情報が伝わらないため、どこでどのように情報を発信し伝えていくのか考えていく必要がある。
- ・いくつか見受けられる「国や県の情報誌やパンフレットを置いた」という報告については、今後、どのように活用してもらうのか考える必要がある。
- ・全て同じ手法でやっていくのではなく、段階を踏まえてやっていくということが必要である。
- ・意見を市や市議会に理解をいただいて実行して欲しい。
- ・目標に対しては何が問題になっているのかというロジカルシンキングの考え方が必要ではないか。
- ・いくつかの事業を重点項目として、「今年度は絶対実施する事業」として進めるのはどうか。
- ・新しいことを始めるのではなく、元々ある事業に男女共同参画の視点を入れて実施するようにしていくと良い。
- ・女性の割合が高いからといって共同参画が進んでいるとは限らない。
- ・若い子の中にはDVの相談室があることを知らない子もいる。郵便局や飲食店等と連携をして啓発チラシ等を設置してはどうか。
- ・子供たちが発達段階の中で学んだことは、生きていく上での基礎となる。教育現場での実施を進めていくのもいいのではないか。
- ・「区長に占める女性の割合」とあるが、現状は区に入る人が減っていることが課題であって、この指標が望ましいものなのか疑問。「消防団に占める女性の割合」もしかり。単に女性が増えることがいいわけではなくてそこでの役割が重要。
- ・防災関連について未実施が目立つ印象がある。丁寧な準備を行ってほしい。
- ・実施報告書の資料について、男女共同参画に対して変化していることが大事だと思うので、最終目標や前年度に対する評価数値を入れてはどうか。
- ・子育て世代などに参加してもらいたい会議や講座を開催する際には、託児の用意や子供がいる状態で会議に参加できるようにするなど、体制を整えることにより、当事者の声を聴くことができる。